



宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（速報値）

（令和8年1月15日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：%	備考
ガン類	240,213	79.7%	過去5番目
ハクチョウ類	16,122	5.4%	過去5番目
カモ類	44,913	14.9%	過去36番目
計	301,248	100.0%	過去6番目

※1月調査は昭和44年度から実施しており、今年度は57回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和8年1月15日	240,213	16,122	44,913	301,248
令和7年1月15日・16日	245,795	15,661	44,238	305,694
増減	▲5,582	461	675	▲4,446

3 主な確認地

地点名 市町村 羽数

(1) ガン類

			昨年の羽数
	蕪栗沼	(大崎市)	132,046羽
	伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	69,862羽
	化女沼	(大崎市)	25,324羽

(2) ハクチョウ類

		昨年の羽数	
	伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	2,999羽
	直沢大溜池	(大和町)	900羽

鳴瀬川-鳴瀬大橋

上流 (東松島市)

46羽

(3) カモ類

		昨年の羽数	
	大沼	(仙台市)	4,461羽
	伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	3,597羽

佳景山

(石巻市)

2,336羽

0羽

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地約500か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会等

110人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。

HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

今後の調査予定日は令和8年3月5日（木）です。

7 飛来状況

順調に飛来しており、個体数はピークを迎え、昨年同様の結果となった。寒波による伊豆沼・内沼などの一部凍結などにともない、ガン類の中には県北東部の河川でねぐらをとる群れもあった。また、伊豆沼でのハクチョウ類の増加は、ハスの回復とともにう、オオハクチョウの食物資源であるレンコンの増加に関係したものと考えられる。

※ 数値は速報値であり、今後変動することがあります。
確定値は約2週間後、ホームページに掲載します。